

施策番号	2003		
施策名	歩いて楽しいくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」プロジェクト大作戦）		
概要	「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発を推進するとともに、歩いて楽しいくらしを大切にする動機付けのための情報や公共交通を利用する際に必要となる情報を、さまざまなメディアや機会などを通じて提供し、交通行動の振り返りや変更を働きかけ、ライフスタイルの転換を促す。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に係る主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

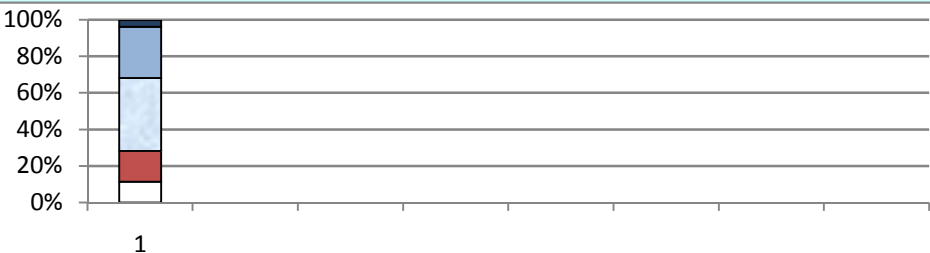
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	観光客公共交通利用割合(%)	-	-	70.0	71.1	71.0	100.1%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切にされている。	21 3.7%	160 28.1%	227 39.9%	96 16.9%	65 11.4%	569	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						C



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c	
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						年度 -
(原因分析) ・総合評価は、B評価となった。 ・「観光客公共交通利用割合」が増加したことにより、客観指標評価はb評価となった。 ・市民生活実感評価は「そう思う」「どちらというと思う」と答えたの方が「どちらかというと思う」「思わない」と答えた方より多かったものの、「どちらとも言えない」と答えた方が多かったことから、c評価となった。						年度 -

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	京阪神都市圏総合交通体系調査	44,507	22,399	-	都市計画局
2	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	506,929	351,795	-	都市計画局
3	全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)	56,631	4,899	-	都市計画局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

今後も、ライフスタイルの転換をひとりひとりに促すため、自らの行動を振り返り、行動をどのように変えるかを考えるきっかけとなる機会や情報の提供を行うことにより、市民、観光客の皆様と一体となって過度な自動車利用の抑制を推進する。

施策名	2003	歩いて楽しくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ京都」 プロジェクト 大作戦）										
指標名	観光客公共交通利用割合（％）											
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3								
1 指標の説明												
京都市への観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合												
2 指標の意味												
観光客の公共交通の利用状況を示す指標			3 算出方法・出典等									
			出典：京都市観光調査年報									
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値								
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度						
数値	70.0	71.1	1.1ポイント増加	71.0	過去5年間の最高値（平成20年度）	100.1%						
	全国順位	中長期目標			備考	今後、「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進体制の一つである「歩くまち・京都」推進会議の議論を踏まえて、指標の検討を行う。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
公共交通の利用割合が a：80％以上 b：60％以上80％未満 c：40％以上60％未満 d：20％以上40％未満 e：20％未満			最高値を100％とし、以下20％刻みで設定した。 <参考> 17年度：70.4% 18年度：70.7% 19年度：71.0% 20年度：71.0%		<table><tr><td></td><td></td><td>23</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>b</td></tr></table>				23	-	-	b
		23										
-	-	b										